

授業科目等の概要

(医療専門課程 言語聴覚科) 2023年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			医学総論 Introduction to Medicine	健康・疾病・障害をとりまく 社会環境を理解し、医療従事者として あるべき姿を学ぶ。	1 年前期	15	1	○			○			○	
○			解剖学 Anatomy	人体各部の器官や組織の名称を学 び、位置関係や構造を理解する。 更に機能についての理解を深め る。	1 年前期	15	1	○			○		○		
○			生理学 Physiology	生体の機能とそのメカニズムにつ いて理解する。解剖学の知識とも 関連させながら理解を深める	1 年前期	30	2	○			○			○	
○			病理学 Pathology	病気の原因、発生機序を探り、疾 病による身体変化についての理解 を深める。	1 年前期	15	1	○			○			○	
○			内科学 Internal Medicine	幅広い内科疾患の成因、症状、診 断、治療を系統的に理解する。	1 年前期	30	2	○			○			○	
○			小児科学 Pediatrics	小児期の成長・発達の基本を学 び、更にリハビリテーションに関 連する小児疾患について理解を深 める。	1 年前期	30	2	○			○			○	
○			精神医学 Psychiatry	臨床現場で接することの多い精神 疾患を理解し、対応を学ぶ。	1 年前期	15	1	○			○			○	
○			リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	リハビリテーションの理念と基本 原則を理解し、更に医学的リハビ リテーションの現状を学ぶ。	1 年後期	30	2	○			○			○	
○			耳鼻咽喉科学 Otorhinolaryngology	言語聴覚士に必要な耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科の医学的知識、特に機 能・疾患を中心に学ぶ。	1 年後期	30	2	○			○			○	
○			臨床神経学 Clinical Neurology	代表的な神経疾患について、症 状、診断、治療、機能予後の理解 を深める。	1 年後期	30	2	○			○			○	

○		言語学 I Linguistics I	言語の持つ特性の基礎知識を理解する。	1 年前期	30	2	○			○			○
○		言語学 II Linguistics II	臨床現場で応用できるように言語学の知識を更に深める。	1 年後期	30	2	○			○			○
○		音声学 I Phonology I	調音器官、調音方法の基礎を学び、国際音声記号（IPA）表記ができるようにする。	1 年前期	30	2	○			○			○
○		音声学 II Phonology II	自分で実際に国際音声記号（IPA）の音を発音できるようにする。また音声に関する様々な性質を深く理解する。	1 年後期	30	2	○			○			○
○		音響学 Acoustics	音と音声の物理的な側面と音声の生理的な側面を音響音声学的に理解する。	1 年前期	30	2	○			○			○
○		聴覚心理学 Psychoacoustics	聴覚器官の構造・機能及び音響学の理解を踏まえた上で、聴覚の心理特性について学ぶ。	1 年後期	30	2	○			○			○
○		言語発達学 Language Development	言語発達を説明する理論をもとに、前言語期から児童期までの言語能力、思考の発達等を学ぶ。	1 年前期	30	2	○			○			○
○		社会保障制度 Social Security System	社会保障および社会福祉に対する考え方を学び、社会保障の体系・制度・法律について理解を深める。	2 年前期	30	2	○			○		○	△
○		リハビリテーション概論 Introduction to Rehabilitation	リハビリテーションの理念や歴史を学び、医学的、社会的、職業的、教育的リハビリテーションの概要について理解する。	2 年前期	15	1	○			○		○	
○		医療・福祉・教育関係法規 Related Regulation	医事法規、保健・福祉・教育関係職種の法規を中心に学ぶ。	2 年前期	15	1	○			○			○
○		言語聴覚障害概論 Introduction to Pathology of Speech & Hearing	乳幼児から高齢者に至るまでの様々な言語聴覚障害を学び、言語聴覚士としての役割について理解する。	1 年前期	30	2	○			○		○	
○		言語聴覚障害診断学 I (小児・成人) Diagnosis in Speech & Hearing in Children and Adults I	子どもから成人までのコミュニケーション障害の評価と診断、指導方針が立案できる基礎を学ぶ。	2 年前期	45	3	○			○		○	△

○		言語発達障害治療学 Treatment in Atypical Language Development	言語発達障害の検査方法を中心に学ぶ	1年後期	30	2	○	○	○										
○		音声障害 Voice Disorders	音声（発声）障害の種類と検査法、手術や音声治療の手技について学ぶ。	2年前期	30	2	○		○										○
○		構音障害概論 (機能性含む) Introduction to Articulation Disorders	構音のメカニズムの概要を理解し、小児にみられる機能性構音障害について、評価、訓練方法を学ぶ。	1年後期	30	2	○			○									○
○		構音障害（口蓋裂） Articulation Disorders (Cleft Palate)	器質的問題、特に口唇・口蓋裂を中心に構音障害を理解し、評価、訓練方法を学ぶ。	2年前期	30	2	○			○									○
○		構音障害 (口腔中咽頭癌) Articulation Disorders (Oropharyngeal Cancer)	器質的問題、特に口腔中咽頭癌を中心に構音障害を理解し、評価、訓練方法を学ぶ。	2年前期	30	2	○			○									○
○		構音障害（運動性）Ⅰ Dysarthria I	神経、筋の疾患の障害で生じる構音障害を理解し、評価できるように学ぶ。	1年後期	30	2	○			○									○
○		構音障害（運動性）Ⅱ Dysarthria II	神経、筋の疾患の障害で生じる構音障害の訓練方法について、演習を交えながら学ぶ。	2年前期	30	2		○		○									○
○		嚥下障害概論 Introduction to Dysphagia	摂食・嚥下障害の臨床に必要な基礎知識を習得し、言語聴覚士としての役割と業務内容について理解する。	1年前期	30	2	○			○									○
○		嚥下障害Ⅰ（治療学） Dysphagia I (Therapeutics)	嚥下障害の検査方法を中心に演習を交えながら検査から訓練実施までの関わり方について学ぶ。	1年後期	45	3		○		○									○
○		嚥下障害Ⅱ（小児・成人） Dysphagia II (Children and Adults)	先天性疾患や脳卒中に伴う嚥下障害など小児・成人の嚥下障害の知識を習得し、評価・訓練方法を学ぶ。	2年前期	30	2		○		○									○△
○		吃音 Stuttering	小児や成人の吃音の症状を理解し、その対応を学ぶ。	2年前期	15	1		○			○								○
○		聴覚障害概論 Introduction to Audiology	聴覚障害の分類、原因等、聴覚障害の基礎について学ぶ。	1年前期	30	2		○			○								○

